

屋代高の野球班65周年 岐阜高招き記念試合

千曲市
から



屋代 待試合を屋代高グラウンドで行った。岐阜高校野球班は、3-4で惜しくも敗れたが、白熱した展開に観戦に訪れた保護者や野球班OBらから

接戦だった屋代高と岐阜高の試合

大きな声援が飛んでいた。

岐阜高校は進学校だが、甲子園で準優勝の経験もある伝統校。試合は両校の監督が筑波大学野球部時代の同期生だったことから実現した。

屋代高校は先発した小笠原光汰選手(2年)が6回まで1点に抑える好投をしていたが7、8回に立て続けに失点。打線は5回に3点を奪って一時逆転

に成功したものの、全体を通してチャンスを生かすことができず競り負けた。

屋代高校の染野龍太主将(2年)は「先輩方の前で少し緊張したが、守備は安定してきただけで打って勝てるチームを目指したい」と話した。試合を観戦したOBの牧野高敏さん(41)は「負けたがナイスゲームだった。今後も歴史を重ね、いつかは甲子園出場を実現してほしい」と後輩たちの今後の活躍を期待していた。